

9月16日第2回上野台中学校区部会グループ協議の概要

テーマ「学校の再編に伴い懸念される課題について」

1 保護者グループ

①行政案以外の再編案について

- ・松が丘、三輪小学校区を上野台中学校区に変更する案について、地域に賛成の声が多かった。三田小、八景中は小中一貫校を検討すればどうか。
- ・相手のあることなので、八景中のことも考え検討する必要があるのではないか。
- ・新三田付近に上野台、藍、長坂中学校の3校を統合新設した場合の経費等について
- ・行政案は八景中寄りの案ではないか。

②通学手段（バス）の確保

- ・教育活動に支障がないように、教育活動に配慮したバスの確保は必須。
- ・遠距離通学の基準（4km）についても柔軟に対応してほしい。
- ・地域交通の確保との両立を考えながら、通学手段の確保を考えていくべきである。

③進め方について

- ・具体的なことは準備会の中での話になっていくであろうが、各論での方向性が見えなければ、結論は出しにくい。できるだけ具体的な方策を示してほしい。

④今後の協議の方向性（どのように結論を導いていくのか）示してほしい。

⑤今後、めざす学校像の共有を図っていききたい。

⑥保護者の不安の声も大変多い。それに対する十分なケアをしてほしい。

2 地域グループ

①行政の姿勢について

- ・幼稚園の再編については、地域に説明なく示された。市の姿勢は一方的で全く信用できない。一番の課題は行政である。
- ・地元にとくに丁寧に説明する姿勢がないと、中学校の再編についても異を唱えざるを得ない。

②統合の考え方について

- ・小規模の良さについても説明をするべき。大規模校と小規模校の良さを統合するということがベースになるよう、しっかりと伝えてほしい。
- ・子どもたちが「肩身の狭い思い」をしないようお願いしたい。

③今の子どもたちへの対応策が4点しか示されていない。策が少なすぎるのではないか。

④次回、分科会を繰り返さず上野台中の保護者と地域が全体で話し合う機会を設けてほしい。その後、八景中学校区と合同で話し合う場を持つべきではないか。

⑤新設校は八景中校区ありきで話があるが、できれば、八景中と上野台中の直線距離上の中心に作ってほしい思いである。

9月23日第2回八景中学校区部会グループ協議の概要

テーマ「学校の再編に伴い懸念される課題について」

1 保護者グループ

- ①行政案に沿って前向きに考えていきたい。その中で、具体的な課題について検討するべきである。
- ②行政案は、上野台中・八景中の両方にとってプラスになる案である。現在2校が抱えるそれぞれの課題を再編を通して解決していくことが重要である。
- ③一定の学校規模を確保することで教職員数を確保していくことが、子どもの教育の充実につながると考える。
- ④2校の子どもたちのためにも、可能な限り早い時期に再編すべきである。合意形成から統合までのスケジュールを示してほしい。
- ⑤行政案およびそれ以外の再編案について、上野台中校区のみなさんがどのように考えているのかを知りたい。そのために、今後、上野台中・八景中の合同での協議の場を持ってほしい。

2 地域グループ

- ①上野台中校区部会では、複数の再編案について協議されているようだが、三田小校区としては行政案が良いと考える。
- ②三輪小校区としては、新設校の具体的な場所について、ある程度の見通しがないと、賛否が示しにくい。場所は八景中の生徒が徒歩又は自転車で通学可能な場所で、現校区の中心部より上野台中寄りが良いのではないかと。
- ③松が丘小校区としては、八景中より近くなれば異論はない。自転車通学路の安全整備をお願いしたい。遠い方の生徒のケアとして、交通手段、部活動に配慮し負担軽減を図る必要がある。
- ④スクールバスを主とすると路線バスの減便やなくなることも考えられるが、生徒の通学・教育活動に支障等、生徒が不便とならないように配慮願う。自宅から計算すると通学時間が1時間を超える場合も想定される。生徒の過度な負担にならないように場所を選定してほしい。
- ⑤この2回保護者と地域が分かれて協議したので、今回は、合同で話し合う場を持ちたい。